

2023（令和5）年3月8日

会員の皆様へ

関係諸機関・団体の皆様へ

日本部活動学会第6回大会実行委員会
委員長 中尾豊喜（大阪体育大学）
事務局長 富山浩三（大阪体育大学）

日本部活動学会第6回大会 ご案内（第三報）更新

標記の大会を大阪府教育委員会ほか後援において下記の通り開催します。次年度からの部活動改革期の直前にあたり、学校教育と社会教育の視座よりディスカッションを展開するシンポジウムを企画しました。皆様には万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 主 催 日本部活動学会
- 2 主 管 大阪体育大学
- 3 後 援 スポーツ庁、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、熊取町教育委員会
- 4 協 賛 ソフトバンク株式会社、くまとりにぎわい観光協会
- 5 日 時 2023（令和5）年3月11日（土） 10：00～18：00
- 6 会 場 大阪体育大学 熊取キャンパス <https://www.ouhs.jp/> ※「アクセス」参照
〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台 1-1
(JR 阪和線「熊取」駅下車、南海ウイングバス 15 分「大阪体育大学前」構内)
- 7 内 容 受付 9：20～（L号館 1 階）
自由研究発表 10：00～12：30（C301, C302, C305）

昼食 12：30～13：50（理事会/12:40～13:40/中央棟 7 階大会議室）
N号館 食堂／OUHS HALL（営業 11:00～14:00）
ヤマザキYショップ（営業 10:00～17:00）
C号館売店（宅配便の受付、～13:00、その後閉店）

13:46（L201）大阪体育大学ダンスクラブによるパフォーマンス
総合司会：由井一成（早稲田大学）
開会の挨拶 13：50（L201）
日本部活動学会 会長 神谷 拓（関西大学）

祝辞	13:56 大阪府教育委員会 教育長 橋本正司 大阪体育大学長 原田宗彦
趣旨説明	14:01 大会実行委員会委員長 中尾豊喜 (大阪体育大学)
基調講演	14:05~14:45 スポーツ庁 地域スポーツ課 課長補佐、兼 運動部活動改革専門官 田口雅紀
シンポジウム	14:55~16:55 テーマ:「改革前夜、学校教育・社会教育の視座より、 これからの部活動を考える」 【現状報告】 モデレーター:土屋裕睦 (大阪体育大学) ① 大阪府教育庁 保健体育課 主任指導主事 杉本嘉文 ② 泉大津市教育委員会×大阪体育大学×ソフトバンク(株) 泉大津市教委 指導課 指導主事 松葉康孝 スポーツ青少年課 課長 近藤陽子 大阪体育大学体育学部 講師 村上 なおみ・滝沢 洋平 ソフトバンク株式会社 CSR 企画統括部 吉嶋稔幸 ③ 芦屋市教育委員会 学校教育課 課長 野村大祐 スポーツ推進課 課長 本間慶一 ④ NPO 法人大阪スポーツクラブ 理事 柴田裕介・朝比奈優 【指定討論】 モデレーター:植田真帆 (東海学園大学) ① 森田啓之 (兵庫教育大学 教授) ② 久保田治助 (早稲田大学 准教授) ③ 藤本淳也 (大阪体育大学 教授) フロアからの意見
閉会の挨拶	16:55 弁護士 望月浩一郎 (パークス法律事務所)
会員総会	17:00~18:00 (L201)
情報交換会	18:10~20:10 (N号館1階 食堂/OUHS HALL) 司会進行 長野いつき (音楽家)

公共交通機関→ 20:35「大阪体育大学前」発 (JR「熊取駅」と南海電車
「泉佐野駅」のみに停車する専用南海バス1台増便)
21:00 (JR「熊取駅」行きバス定期便の最終)

▶ 【午前の部】 自由研究発表

会場	No.	タイトル	発表者（所属）	時間
第1会場 C301 教室 司会者 関 朋昭 (鹿屋体育 大学)	1	大阪市における部活動の地域連携・地域移行 に向けた考察 — モデル事業の事例報告とアンケート調査 から見えた現状と課題 —	○巽樹理（追手門学院 大）、松田淳至、糸山政 光、砂場秀人、廣山真由 美、長原尚哉（以上、大阪 市教育委員会）	10:00～10:50 共同
	2	部活動地域移行事業におけるコンフリクトに 関する研究 — 大阪府 A 市の運動部活動地域移行事業 を事例に —	○八木原綾音（大阪体育大 院生）、富山浩三（大阪体 育大）	10:50～11:40 共同
	3	教職経験を有しない部活動指導員及び外部指 導者への研修の在り方に関する考察 — 指導者養成研修及び認定事業を展開する 組織・団体の実態調査を踏まえて	○長瀬基延（愛知県江南市 立布袋中）、鈴木典子（国 際交流基金）、井手祐樹 （横浜中・高）、渡邊裕也 （日本経済大）	11:40～12:10 共同（中間報 告）30 分間
	第1会場の全体意見交流			12:10～12:30
第2会場 C302 教室 司会者 有山篤利 (追手門学 院大学)	1	生徒主体の部活動運営を促す学校改善 — 生徒の自律的な部活動運営を支援する教 員の志向促進の試み —	長瀬基延（愛知県江南市立 布袋中）	10:00～10:30 個人
	2	スポーツ指導における体罰は 10 年間でどう変 化したか？ — 大学生を対象とした質問し調査の比較検 討—	○土屋裕睦（大阪体育 大）、中小路徹（朝日新聞 社）、池田和司（大阪体育 大院生）	10:30～11:20 共同
	3	運動部活動チームの心理的安全性の向上に向 けた能力成熟度モデルの提案	○甲谷勇平（慶應義塾 大）、佐藤優介（慶應義塾 大）、白坂成功（慶應義塾 大）	11:20～12:10 共同
	第2会場の全体意見交流			12:10～12:30
第3会場 C305 教室 司会者 長沼 豊 (日本教育 実践研究 所)	1	高等学校軽音楽部活動の大会成績と活動実態 の關係の考察	○長野いつき（音楽家）、 三谷佳之（NPO 法人全国 学校軽音楽協会）	10:00～10:50 共同
	2	日加の部活動の比較検証 — カナダ・トロントの公立学校での運動部 活動を通して —	鈴木典子（独立行政法人国 際交流基金）	10:50～11:20 個人
	3	教員の部活動手当額の歴史的変化 — M 県の教員特殊業務手当額を基に—	村田淳一（元公立小中学校 事務職員）	11:20～11:50 個人
	4	高校部活動における部活動指導員、外部指導 者等の活用状況とその理由について — 部活動顧問調査より—	柴田陽介（浜松医科大）	11:50～12:20 個人
	第3会場の全体意見交流			12:20～12:30

注) 青色のタイトルが最新

- ※1 個人研究は、発表時間 25 分間、質疑 5 分間、合計 30 分間とする。
- ※2 共同(グループ)研究は、発表時間 40 分間、質疑 10 分間、合計 50 分とする。
ただし、中間研究報告は、発表時間 25 分間、質疑 5 分間、合計 30 分間とする。
- ※3 質問者は、記録の都合上、所属と名前を公にする。

▶ **【午後の部】 基調講演・シンポジウム**

テーマ：「改革前夜、学校教育・社会教育の視座より、これからの部活動を考える」

趣旨：テーマ設定の理由として、①急激な少子化、②学校の働き方改革、これに日本社会を挙げて対応するため、部活動改革にかかわりステークホルダーが一堂に会し、新鮮な情報において意見交流を図り、妥当な合意を形成していく環境が、いま、望まれます。この環境に位置付けたのが第6回大会（会場：大阪体育大学）です。

改革がスタートする来月4月の新年度より、休日における中学校の部活動を地域クラブ活動として移行・展開していくシステムづくりが始まります。3月はその前夜です。すなわち、地域社会の実情に応じた部活動改革を円滑に推進するには、自治体の「学校教育」担当と「社会教育」担当の意思の疎通が重要な鍵となります。本大会をその場に使ってください。関係の皆さんは、この実際を聴きに集まってください。

これまで部活動を通して人間性豊かで寛容な人材を社会に出された顧問の先生方に深く感謝いたしますが、社会はいまも動いていますので、上述の①、②に回答する新たな仕組みが必要となります。従前の部活動の功績は十分に認識していますが、教員定数が増えない限り、この機能は低迷します。地域や民間企業が担うのか。それゆえに大きな変革が必要です。とりわけ、どこをどう改善すれば、生徒が主体的に活動する有用な環境を保障できるか、一緒に考えましょう。自治体や学校法人はもとより、地域スポーツ・文化活動の指導者、PTA、中学校・高等学校の顧問も忙しいでしょうが集まって実際の意見を述べてください。

以上の理由から、大会テーマを「改革前夜、学校教育・社会教育の視座より、これからの部活動を考える」としました。部活動改革の最新情報を共有し、相互いの課題を焦点化するため、午前の自由研究発表に続き、午後は基調講話とシンポジウムを企画しました。

（第二報 続報版）

▶ **大会の参加費（「プログラム・発表要旨集」誌代を含む）**

会 員： 1,000 円（学生会員は無料）

非会員： 2,000 円（学生 1,000 円）

情報交換会[任意]： 5,500 円（正会員・臨時会員共通）

▶ **お問合せ・研究発表の申請・資料等の送付先**

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台 1-1 大阪体育大学 体育学部

富山浩三（研究室☎ 072-453-8837, ✉ tomiyama@ouhs.ac.jp） ※主に自由研究発表

小田美幸（大会事務局補佐：✉ miyuki-oda@ouhs.ac.jp）

中尾豊喜（研究室☎ 072-468-7260, ✉ tnakao@ouhs.ac.jp） ※主にシンポジウム、その他

以上